不倫速報 号外

2026年11月5日発行
ジェンチル（純子チルドレン）探偵団
鳥山ゼミ

名探偵純子の不倫捜査ファイル
～恋の修羅場に潜む！～



Detective Junko's Infidelity Case Files:Uncovering the Truth Behind Love Scandals!

🔎【捜査の背景】「不倫は許せない！」⇒ 浮気・不倫への怒りからスタート！

🗂️【捜査の意義】同じ不倫なのに、なぜ男女で世間の反応が違うのか？
恋愛の裏に潜む「男女の不平等」を暴く！

🕵️【リサーチクエスチョン】
- なぜ男性の不倫は許容されやすい？
- なぜ女性のほうが失うものが大きい？
- 世間の「女性の不倫のほうが悪い」という意識は、どう生まれた？

CASE①｜【芸能スクープ】清純派女優に不倫疑惑！

捜査対象：田中圭・永野芽郁　　2025年4月24日、不倫疑惑が報道。
- 永野：「清純派女優」のイメージが急落。
- 大手企業の広告・CM・画像も削除。大河ドラマ・ラジオ番組の降板。
- 契約解除による違約金の発生も避けられない状況。
- 田中：既婚者としてのイメージや、周囲からの信頼にも影響。

CASE②｜【LINE流出騒動】「友人関係」の釈明も、批判拡大！

捜査対象：川谷絵音・ベッキー　　2016年1月6日、不倫疑惑が報道。
- ベッキー：会見で「友人関係」と説明し、恋愛を否定。
  しかし！⇒LINEのやり取りが報じられ、批判が強まる。
- レギュラー番組9本の出演を自粛、CMも差し替えに。
  ⇒明るいイメージを大きく失う。
- 川谷：信頼や評価に影響。が、音楽活動への打撃はベッキーに比べ限定的。



【捜査情報 ～歴史から読み解く～】
同じ不貞なのに、男女で扱いが違った？

歴史①



歴史②





まとめ

【調査でわかったこと🔎】
- 男性 ⇒「家を守る」役目 ⇒寛容
- 女性 ⇒「貞操」を求められる ⇒厳格
  - 「女性のほうが悪い」は、生まれつき共有された 感覚ではない

⇒ 制度と歴史が育てた考え方

【私たちの提唱📢】
① 「あたりまえ」を疑おう。
② ジェンダーの視点から考えてみよう。
③ 差があれば、その背景に目を向けよう。

不倫は許されない。
でも、裁くなら、公平に



参考文献:
稲垣知子（2001）「近世大名の婚姻範囲―享保九年・宝暦一三年の幕府婚姻奨励法令について」『法制史研究』50、117–135頁　https://www.jstage.jst.go.jp/article/jalha1951/2000/50/2000_50_117/_pdf/-char/ja
現代ビジネス編集部.(2025/5/23). 田中圭と永野芽郁の「不倫疑惑」報道の全貌…手繋ぎショット・LINE流出から、事務所独占取材、元女優妻の怒り、降板騒動まで. https://gendai.media/articles/-/152473(最終閲覧日：2026/10/19)
松本克美. (2021). 夫婦の一方が他方と不貞行為に及んだ第三者に対し離婚に伴う慰謝料を請求することの可否. 末川民事法研究, 7, 39-45.
石島亜由美（2018）. 近代日本における「妾」に関する新聞記事のジェンダー分析――「嫉妬」の社会的構築と「妻」の危機・「妾」の排除. 『女性学』, 25, 63–81. https://www.jstage.jst.go.jp/article/wsj/25/0/25_63/_pdf/-char/ja
参議院法制局（n.d.）. 刑法上の罪の新設と改廃https://houseikyoku.sangiin.go.jp/column/column053.htm?utm_source
後藤武秀. (2016). 歴史的に見た台湾と日本の家族に関する法現象の共通性と文化的異質性――夫一妻多婦制度を例として. アジア文化研究所研究年報, (50), 304(39)–308(43). asiabunka50_308(039)-304(043).pdf
産経新聞. (2016年12月22日). 『ゲスの極み乙女。』川谷絵音 ベッキー、ほのかりんの人生をどう変えたのか. 産経新聞. https://www.sankei.com/article/20161223-XFCX7H466ZKEZKKT6SD25OF6ZU/
日刊スポーツ. (2016年5月10日). 1月発覚後でベッキーCM10社消滅／不倫騒動経過. 日刊スポーツ. https://www.nikkansports.com/entertainment/news/1644711.html

2026年11月5日発行 ジュンチル（純子チルドレン）探偵団 鳥山ゼミ